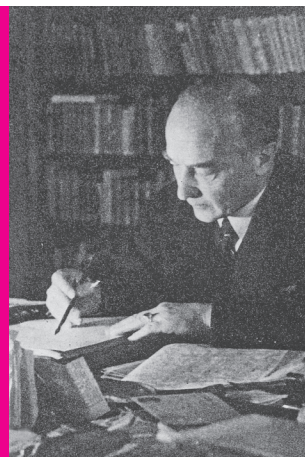


カール・コリーノ 著 —— 全3巻 (完結!!)

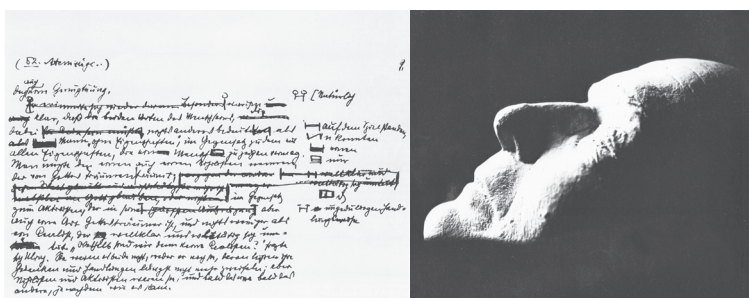
早坂七緒 / 北島 玲子 / 赤司 英一郎 / 堀田 真紀子  
高橋 完治 / 渡辺 幸子 / 満留 伸一郎 訳

# ムージルの伝記 3

ISBN 978-4-588-00916-7 C1323 《叢書・ユニベルシタス 916》  
法政大学出版局刊 四六判上製 800 頁 / 定価 10,290円 (本体 9,800円 + 税)



『特性のない男』の刊行からその死までを描く完結編。反戦・反ファシズムと文化の擁護を目指したパリ国際作家会議では孤立し、ナチスからは禁書とされ、亡命を余儀なくされるムージル。それに対して、トーマス・マンやブロッホらの懸命の救援活動が続く。「作家以上のもの、あるいはまた同様に、作家とはまったく違う何か別のもの」とも称されたムージルの《真正さ》を保つ精神の最後の光がここにある。口絵、詳細な年譜および居住・滞在の軌跡を付す。



(左)「夏の息吹」(絶筆)。死の当日ムージルが手を入れた草稿。「こうして至高の無私に到達するならば、世界を分け隔てていくさびがはげ飛んだように、ついには外と内とが触れ合うのだ……！」。  
(右) ムージルのデスマスク。ジュネーブの画家が型をとった。

**著者：カール・コリーノ (Karl Corino 1942-)** バイエルン州北部に農場主、音楽家の息子として生れる。ディンケルスビュールの古典語ギムナージウムに学び、16歳のときムージルの短篇「グリージャ」と、『特性のない男』の数章を読み、この出会いが生涯を決定する。エアランゲン大学およびチュービンゲン大学でドイツ語ドイツ文学、古典文献学、哲学を研究。1969年チュービンゲン大学のバイスナー教授のもと、ムージルの『合一』についての論文により博士号取得。ヘッセン放送局文化部に入社し、1985年から文化部長。その後フリーの著述家としてチュービンゲンに在住。ピサ、セントルイス、エッセンにおいて客員教授、ベルリン学士院フェロー、I. バッハマン賞審査委員など。ムージルの伝記的研究の第一人者。



Karl Corino  
ROBERT MUSIL: Eine Biographie

----- 切り取って最寄りの書店にお渡し下さい -----

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 **法政大学出版局** TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542

注 文 書	<b>ムージルの伝記 3</b> ( 冊 )	書店名・ 番線
	ISBN 978-4-588-00915-0 C1323 定価 10,290 円 (本体 9,800 円 + 税)	
	お名前: _____	
	お住所: _____ お電話: _____	